

学校名	恵那市立 大井第二小学校				
児童数	501人(1年80人 2年86人 3年66人 4年95人 5年84人 6年90人)				
1 はじめに(地域の概要)	<p>本校の校区は、恵那市の東部、中津川市と隣接した地域である。校区の北には木曾川が流れ風光明媚な恵那峡がある。学校近くには、史跡などが残る中山道が通っている。校舎は、森や田畑に囲まれた静かな環境にある。こうした学校の環境は、総合的な学習の時間の課題にも利用できている。</p> <p>校区には、古くからの農村地区と新しい住宅地区があり、住民の価値観は多様である。PTAをはじめ校区の人々の学校教育への理解と協力は厚く、本校の教育を支える大きな力となっている。</p>				
2 学校の教育目標	<p style="text-align: center;">向学心</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">なかよく 力を合わせよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">かしこく 真理を学ぼう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">たくましく 体をきたえよう</div> </div>				
3 活動目標(福祉教育関係)	地域の福祉や人権に目を向け、活動を知り、交流を通して人に優しく向き合う態度を養う				
4 推進体制	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">校長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">教頭</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">運営委員会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">児童会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">重点学年(4・5・6年)</div> </div> <p style="text-align: center;">PTA実行委員会</p>				
5 課題	<p>障害を持った方との交流の場を持ったが、「点字」「車いすダンス」「口で絵を描く」など、毎年交流する方が変わった。障害を持った方の様々な生き方を広く知ることができた反面、継続的に発展させることができなかった。</p> <p>福祉を「知る」・「ふれあう」段階までは多く計画・実施できるが、「実践する」となると小学生では場が限られる。郊外に出て学習をするとき、安全性に配慮しながら、目的・場を考え、学習できる内容を今後も充実させる必要がある。</p> <p>特定の施設・場での福祉体験とともに、身近な中での個々の実践力をさらに付けたい。</p>				
6 成果	<p>お年寄りや、地域の方との交流を通して、児童は、思いやりの心を持ち、郷土に対する誇りを持つことの大切さについて学ぶことができた。</p> <p>映画やCAPプログラムを通して、人間を尊重し、差別や偏見を無くすことの大切さについて考えることができた。</p> <p>挨拶運動や美化運動を通して、地域の人や環境に積極的にに関わり、より美しい環境を整えようとする態度を養うことができた。</p> <p>養護学校や老人ホームとの交流を通して、相手の立場に立ち活動することの大切さを学ぶことができた。</p> <p>車椅子や白杖体験をすることで、障害を持った方に対してどのように援助したらよいか具体的に学ぶことができた。</p> <p>福祉体験で学んだことを上級生が下級生に伝える場を持つことで、福祉学習で学んだことを広げることができた。また、年々継続・発展させることができた。</p>				

7 活動内容

平成17年度	<p>講演会 7月8日(金)4年87人 『CAPプログラム』 調査・研究動 6月～1月 6年62人 『福祉について考えよう』 手話・点字講習会 11月1日(火)11月4日(金)4年87人 『手話と点字を学ぶ』 老人福祉施設訪問 12月2日(金)6年62人 『老人ホーム恵光園訪問』 社会福祉体験 11月15日(火)6年62人 『車イス、白杖、高齢者体験』 清掃・環境美化 5月～7月 全学年473人 『花いっぱい運動』 地域との連携 9月 全学年473人 『独居老人への花苗プレゼント』 地域との連携 5月～6月 2年96人 『地域の方を講師に町探検や野菜作り』 地域との連携 7月19日 5年88人 『農産物生産者との交流』 環境美化活動 10月28日(日) 6年62人 『奉仕作業への参加』 環境美化活動 3月17日(金)6年62人 『校舎の清掃活動』 環境美化活動 6月26日(日)12月4日(日)473人 空き缶拾い 学校行事へ招待 10月2日(日)6年62人 『運動会に独居老人の方を招待する』 学校行事へ招待 10月8日(土)全校473人 『竹下景子さんを迎えて朗読の学習』 創作活動 9月4～6年263人 『福祉標語の創作と応募』 協力校間の情報交換 7月11日(月)12月13日(火)3月16日(木)5年生88名 『恵那養護学校との居住地交流学习』 その他 あいさつ運動 年間を通し毎日 『児童会によるあいさつ運動』</p>
平成18年度	<p>映画会 12月8日(金)全学年507人 『人権・福祉テーマの映画会と学習』 講演会 10月6日(金)4年87人 『CAPプログラム(子どもワークショップ)』 講演会 3月8日(木)6年89人 『車椅子ダンス見学と講話、車椅子体験』 老人福祉施設訪問 12月7日(木)6年89人 『老人ホーム恵光園訪問』 保健施設訪問 9月11日13日14日 6年89人 『ほほえみ』訪問 社会福祉体験 11月15日(水)6年89人 『車イス、白杖、高齢者体験』 地域との連携 6月～1月 4年82人 『恵那峡について調べよう』 地域との連携 5月30日(火)2年96人 『地域の方を講師に町探検』 地域との連携 5月～9月 5年89人 『地域の田で米作り』 環境美化 5月～7月 全学年503人 『花いっぱい運動』 清掃・美化活動 8月27日(日)6年89人 『校内草引き作業への参加』 地域清掃 1月23日(火)24日(水)6年59人 『登校道路地域清掃』 清掃・美化 空き缶拾い(リサイクル)6月～12月全校507人 『アルミ缶あつめ』 学校行事への招待 9月30日(土)6年89人 『独居老人の方を運動会に招待』 創作活動 9月4～6年272人 『福祉標語の創作と応募』 協力校間の情報交換 7月12日(木)6年89人 『恵那養護学校との交流学习』 その他 あいさつ運動 年間を通し毎日 『児童会によるあいさつ運動』</p>
平成19年度	<p>映画会 12月5日(水)7日(金)1年～4年 『人権・福祉のビデオ視聴と学習』 講演会 6月11日(月)12日(火)4年93人 『CAPプログラム』 講演会 6月19日(火)6年89人 『口で絵筆をくわえ描く方の講演会』 福祉施設訪問 6月27日(水)29日(金)6年89人 『リハビリテーションセンターほほ恵み訪問』『デイサービス恵愛訪問』 老人養護施設訪問 10月22日23日24日 6年89人 『万年青苑訪問』 社会福祉体験 9月13日(木)6年89人 『車イス、白杖、高齢者体験』 地域との連携 6月～1月 4年93人 『恵那峡について調べよう』 地域との連携 6月1日4日5日 2年86人 『地域の方を講師に町探検』 地域との連携 5月～9月 5年83人 『地域の田で米作り』 環境美化 5月～7月 全学年501人 『花いっぱい運動』 清掃・美化活動 9月2日(日)6年89人 『校内奉仕作業への参加』 清掃・美化 空き缶拾い(リサイクル)6月～12月全校501人 『アルミ缶あつめ』 学校行事への招待 9月29日(土)6年89人 『独居老人の方を運動会に招待』 創作活動 9月4～6年265人 『福祉標語の創作と応募』 協力校間の情報交換 7月11日(水)2年28人 『恵那養護学校との交流学习』 その他 あいさつ運動 年間を通し毎日 『児童会によるあいさつ運動』</p>

8 活動事例

活動内容「老人ホーム恵光園訪問」

- 1 目的 老人ホームを訪問し、高齢者の方々とのふれあい体験を通して、高齢者の立場に立って考え、接しようとする気持ちを育てる。
- 2 参加者 大井第二小学校 6年生 89名（各学級ごとに訪問）
- 3 内容 平成18年12月7日（木）実施
 - (1) 事前学習・準備
 - 「学習計画を立てよう」5月「老人福祉」について学習していくことを話し合う。
 - ・前年度の6年生の活動を知らせ、それを手本にして、自分たちのしたいこと、知りたいことをイメージさせる。
 - 「老人福祉施設に向けて発信しよう」
 - ・概要を調べ、挨拶文を送る。
 - ・自分が調べたい事柄や、やってみたいことを明確にさせ、具体的に活動内容をイメージさせる。
 - 「老人福祉施設との交流をすすめよう」
 - ・交流の目当てや発表内容を決める。
 - ・全体交流「合唱」「リコーダー演奏」の練習をする。
 - ・反抗流でお年寄りに喜んでもらえるような交流内容を考える。
 - ・事前にポスターを貼りに行く。
 - ・係ごとで、お年寄りの目線で必要なことを話し合い準備をする。
 - ・老人福祉に詳しい方を学校に招き、事前に話を聞く。
 - ・プレゼント作り、ゲームの準備をする。
 - (2) 当日の交流「輝け笑顔交流会～恵光園訪問」
 - ・飾り付け、準備
 - ・進行係が中心になり進める。全体で挨拶、歌
 - ・班別交流
 - ・全体交流 プレゼント渡し
 - (3) 事後学習「訪問を終えての反省会をしよう」
 - ・目当ては達成できたか、係や発表について話し合う。（各自 全体）
 - ・もっと高齢な人病気の人に目を向ける。
 - ・恵光園のお年寄りの様子から、さらに知りたいことを出し合う。
 - (4) 成果
 - ・児童の合唱やプレゼントに涙を浮かべながら喜んでくださる方がおり、児童の励みとなった。
 - ・お年寄りにわかりやすくゲームを説明するなど、相手の立場に立ち接する姿が多く見られた。

